



NANTSURU FRIENDS

たいさんぼく



HP <https://schit.net/tama/esminamitsurumaki/>

E-mail daihyo-minamiturumaki-sho@city.tama.ed.jp

今後も多様さの中で

校長 森 信行

今年度最後の学校だより「たいさんぼく」になりました。

昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染防止を念頭に置きながら教育活動を進めてまいりました。その中で保護者の皆様には、多くのご協力をいただきました。

運動会や学芸会、学校公開では参観者の人数制限を設けさせていただき、学年ごとの入れ替えも導入しました。高学年の移動教室（宿泊学習）では、コロナ禍での実施に関するご意見を聞かせていただきました。保護者会のリモート開催や学級閉鎖時のリモート学習でも端末操作等でお世話になっています。

ここに挙げた事柄以外にも、たくさんの場面で本校の教育活動を支えていただきました。おかげで学びの継続ができていることに、深く深く感謝いたします。

感染力の高い変異株による感染拡大は、なかなか収まる気配が見えません。今のような状況がしばらく続きそうです。

学校の教育活動にも様々な変化がありました。一昨年度末から広がったコロナ禍の経験値が何層かに積み上げられ、制限の範囲も徐々に緩和できています。もちろん、校医をはじめとする専門家の方々の助言や多摩市教育委員会の方針をくみ取ったうえでの判断です。子供たちの気持ちも尊重したい、それを強く感じている保護者の気持ちにも寄り添っていききたい。様々な声や気持ちを真摯に受け止めながら、今後も教育現場の専門職として慎重に物事を判断していきます。独立独歩でもなく、付和雷同でもなく、判断したことについて丁寧に説明をしながら教育活動を進めていきます。

1年間を振り返ると、どうしても新型コロナウイルスの話題が多くなってしまっていますが、この1年間を象徴するような出来事として、2度のオリンピック・パラリンピック開催があります（北京パラリンピックは3月4日から開催）。これらの話題は「たいさんぼく」にも何度か掲載しました。先日終了した北京オリンピックでもアスリートたちの活躍をテレビ中継等で観戦した人も多いと思います。

私はこの大会で、スノーボード男子ハーフパイプの平野歩夢選手とフリースタイルスキー男子モーグルの原大智選手に注目をしていました。この2名の共通点は何でしょうか。スポーツに詳しい方ならご存知だと思います、「二刀流」（他競技でも活動している）のアスリートです。平野選手がスケートボードの代表として東京オリンピックに出場したことは有名です。足を固定しないスケートボードに3年間打ち込んだことによって、微細なバランス感覚や体の各部位を使ったバランスをとる技能が向上し、難易度が高いエアを着地まで成功させることができたそうです。夏季五輪が1年間延期したことにより、北京五輪までのトレーニング期間が半年しかなくなりましたが「新たな道を切り開きたい」と困難な二刀流にあえて挑戦したそうです。原大智選手は前回の平昌五輪の銅メダリストです。平昌五輪終了後にプロ競輪選手への転身を表明しました。競輪選手養成学校の特別選抜試験に合格し、競輪界へ転身しましたがモーグルの練習も短時間ながら続けていて、その比率は競輪8：モーグル2、転身直後は自転車のペダルを長時間漕ぐ「訓練」を徹底。「経験したことのない辛さ」だったそうです。しかし、それらによって研ぎ澄まされた筋肉は雪上でも威力を発揮し、出力と瞬発力が向上。採点の6割を占めるターンの質の向上を自覚し、コーチも「平昌の頃よりも進化している」と驚嘆しました。原選手の北京五輪は惜しくも決勝の3レース目に進めず終了しました。彼も平野選手と同様に「誰もやっていないことに挑戦したい。」との思いからの二刀流でした。今後は競輪選手として頂点を目指すそうです。

研究者によると、複数の競技に取り組む「マルチスポーツ」は日本ではあまり根付いていません。海外では中学生年代くらいまでは3つくらいのスポーツをやっているのが平均的なのだそうです。子供の頃にくいつかのスポーツを経験することのメリットは、興味や関心の幅が広がり、自分の体の動かし方を知ることができて健康面での応用がきくことだそうです。競技者年代になってからは、能力の向上やけがの軽減、燃え尽き症候群の防止といったメリットが研究結果として出ているということです。

これらはスポーツだけに限らず、多様な考え方や現象を寛容的に受け止めていくことで、人としての幅に通じていくことと似ていると感じました。

2月11日（金・祝）に道徳地区公開講座を実施しました。残念ながら感染症対策のため、公開はしませんでした。が、教員間で道徳授業を見合い、研究しました。

道徳教育は、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲を育てることを目標にしています。

その内容は、以下の視点で大きく四つに分けられています。

- A 主として自分自身に関すること
- B 主として人とのかかわりに関すること
- C 主として集団や社会とのかかわりに関すること
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

本校の道徳教育では、内容項目（B）「親切、思いやり」やいじめ防止に関わることに重点をおいています。

今回の道徳地区公開講座では、それぞれの担任が年間指導計画と児童の実態に基づき、価値項目を選んで授業を行いました。下に、教材名と価値項目の一覧を記しています。

各教室の授業を見ていますと、教科書を活用しながら、児童相互の考えを深めるために、話し合い活動を取り入れたり、児童が自ら考えを深めたり、整理する機会として、書く活動を取り入れたりしていました。私自身もこちらが一方的に話をする授業ではなく、「考え、議論する道徳」授業にできるように努めています。



道徳は答えが決まっていない学習です。人としてどう生きるのが必要です。授業をしたその日には大きく成長しないかもしれませんが、子供たちの心に考える種をまき、いつか芽吹く日を期待して指導しています。ご家庭でも、ぜひ、学校で学んだことについて、話をいただければ幸いです。これからも、ご家庭と連携をとりながら、子供たちのよりよい未来のために職員一同、力を尽くして参ります。

道徳授業地区公開講座【書面開催】

令和4年2月11日（金・祝）

- | | |
|----------|---------------------------------|
| 1年、1年ふたば | 「はしのうえのおおかみ」(B(6) 親切、思いやり) |
| 2年、2年ふたば | 「ぐみの木と小鳥」(B(6) 親切、思いやり) |
| 3年 | 「『わたしらしさ』をのぼすために」(A(4) 個性の伸長) |
| 3・4年ふたば | 「梨の実-アンリ=フェアブル」(A(2) 正直、誠実) |
| 4年1組 | 「五百人からもらった命」(D(17) 生命の尊さ) |
| 4年2組 | 「ブラッドレーのせい求書」(C(4) 家族愛、家族生活の充実) |
| 4年3組 | 「絵はがきと切手」(B(9) 友情、信頼) |
| 5年 | 「『自分らしさ』を見つめよう」(A(4) 個性の伸長) |
| 5年ふたば | 「マークが伝えるもの」(B(7) 親切、思いやり) |
| 6年1組 | 「ロレンゾの友達」(B(10) 友情、信頼) |
| 6年2組、3組 | 「コスモスの花」(B(10) 友情、信頼) |

念願の藍染体験

第5学年 主任教諭

本校の伝統にもなってきた藍染体験。春の種まきから講師の さんに手ほどきを受け、長い時間をかけてこの日までに準備をしてきました。種まき、草取り、アブラムシ除けの牛乳散布作業など、思い返すと様々な作業がありました。夏を過ぎ秋序盤から始めた刈取作業では、1番刈り、2番刈り、そして3番刈りまで行いました。刈り取った藍は、しばらくの間、校内に干し、完全に乾燥させました。乾燥後は、葉を茎から取り外し、染料の原料として保管しました。



どのように染めるかは各自が事前にインターネットや本を使って調べ、ビー玉を輪ゴムで結んで絞ったり、割りばしなどを使って渦状に巻いてから輪ゴムで止めたりしました。

当日は、まず2種類の薬品を使って藍の染料を作ります。1番刈り、2番刈り、3番刈りの葉を均等に分け、染料の濃さが同じぐらいになるようにしました。できあがる染料の色を見て、「イメージと違う。」と気にする子もいましたが、「空気に触れると酸化し、日光にあてると深みが増して色が変わるから楽しんでね!」と教えてもらいました。

見る見るうちに変わる布の色を見て、子供たちはその変化に興奮しました。



何と言っても藍染の醍醐味は、絞ったり締めたりしたしかけを外したときに浮き出てきた模様に出合ったときにあります。2枚と同じ模様はできない自分だけの作品に、どの子も大満足でした。ご家庭で布を用意していただいたり、何度も洗って染料が入りやすくしていただいたりして、ご協力をいただきありがとうございました。これまでより遅い時期の体験となりましたが、無事、大成功に終わることができ、何よりでした。

今年度の重点目標	自分が大切 みんなが大切	
	・あいさつをしよう ・きまりを守ろう ・協力しよう	
3月の生活指導目標	成長した自分を見つけよう	
3月の安全指導目標	1年間の生活を振り返ろう	
3月の保健指導目標	健康にすごせたか、1年間の反省をしよう	
3月の給食指導目標	1年間の反省をしよう	



3・4月の行事予定

まん延防止等重点措置の延長等によって、変更する可能性があります。

3月のしぼちゃん

1日(火) 4・6年5校時まで 全校一斉朝読書 スクールカウンセラー勤務日 わかば面談始 保護者会(2・4・6年)14:45 リモート	令和4年度 4月2日(土) 芝生管理作業(サッカー/新4年1組)9:00
2日(水) 1~4年4校時まで モーニング・プラス(1・2年) 委員会活動⑩終 安全指導日	5日(火) 春季休業日終
3日(木) 3・5年5校時まで モーニング・プラス(3・4年) 児童集会(音楽委員会) ↓リモート 保護者会(1・3・5年、ふたば)14:45	6日(水) 前期始業式 9:20 下校 第41回入学式
4日(金) モーニング・プラス(5・6年) 6年生を送る会 卒業式会場準備(5年)	7日(木) 4校時まで 1年4校時始 給食始 なかよし登校始(1・6年) 定期健康診断始 安全指導日 かがやきタイム(1年)始
7日(月) 児童朝会 奉仕活動(6年)始 スキー教室事前健診(5年)	8日(金) 身体計測(全)
8日(火) スキー教室(5年) 全校一斉朝読書 スクールカウンセラー勤務日 クラス遊び 青少協防犯パトロール 16:00	9日(土) 芝生管理作業(ホース/新4年2組)9:00 南鶴牧小学校グリーンネットワーク委員会⑩10:30
9日(水) スキー教室(5年) モーニング・プラス(1・2年)	10日(日) 多摩市長選挙
10日(木) モーニング・プラス(3・4年) 児童集会(集会委員会)	11日(月) 4~6年4校時まで 児童朝会 あいさつ運動始(5年) 保護者会(4~6年、ふたば)14:00
11日(金) 6校時まで モーニング・プラス終(5・6年) 避難訓練 クラブ活動終 青少協地区委員会 19:00	12日(火) 1~3年4校時まで 全校一斉朝読書 スクールカウンセラー勤務日 水泳指導(6年始) 保護者会(1~3年)14:00 放課後子ども教室①(1・2年) 青少協防犯パトロール 16:30
12日(土) 合唱団練習 9:30	13日(水) 4校時まで 避難訓練 1年給食始 読み聞かせリーダークラス係全体会 10:00(4~6年、ふたば)
13日(日) さくらコンサート(合唱団)	14日(木) 児童集会(音楽委員会) 水泳指導(6年) 読み聞かせリーダークラス係全体会 10:00(1~3年) スクール・メール・アシスト テスト送信
14日(月) 児童朝会 体育館学校開放止始 遠足(4年)小山田緑地	15日(金) なかよし登校終 クラブ活動①
15日(火) 全校一斉朝読書 スクールカウンセラー勤務日 芝生の日 父母教世話人会 10:00	18日(月) 児童朝会 新旧世話人引継ぎ総務 10:00
17日(木) 4校時まで	19日(火) 全校一斉朝読書 スクールカウンセラー勤務日 芝生の日 水泳指導(6年) 全国学力・学習状況調査(6年) 新旧世話人引継ぎ環境 10:00
18日(金) 4校時まで 奉仕活動(6年)終 わかば終 わかば面談終 スクールカウンセラー勤務日	20日(水) 新旧世話人引継ぎ青少協 10:00
19日(土) なな山自然観察会・早春 9:10 芝生管理作業(サッカー/5年1組)9:00 南鶴牧小学校グリーンネットワーク委員会⑩10:30	22日(金) 離任式
22日(火) B時程5校時まで 大掃除 スクールカウンセラー勤務日	29日(金) 昭和の日 学校公開日
23日(水) 1~4年4校時まで 5・6年6校時まで 給食終 卒業式予行	5月2日(月) 振替休業日
24日(木) B時程4校時まで 修了式	21日(土) 創立40周年記念第40回運動会
25日(金) 第40回卒業式	23日(月) 振替休業日
26日(土) 春季休業日始 芝生管理作業(おやじの会/4年3組)9:00 なな山自然観察会・早春予備日 9:10	

予定下校時刻	A(月・火・木)	B(水・金・土)	授業時間	月	火	水	木	金
4時間授業給食なし	-	12:15		4	5	5	5	5
4時間授業給食あり	13:20	13:05		5	5	5	5	5
5時間授業	14:35	14:05		5	6	5	6	5
6時間授業	15:20	14:55		4・5・6年	6	6	5	6
7時間授業	-	15:40						

新型コロナウイルス オミクロン株は、発熱はなくとも、**のどが痛い、鼻水が出る、だるい**等の症状があります。このような症状があるときには登校を控えてくださいますようお願いいたします。

3月1日現在の年間行事予定を保護者会の折りに配布します。4月以降の予定はこちらをご覧ください。来年度は創立40周年の年となります。